

■エラーが発生した手順

- (1) Recovery Serviceコンテナのリソースを開く
- (2) [保護されたアイテム] > [レプリケートされたアイテム]に移動し、「+レプリケート」から"Azure 仮想マシン"を選択
- (3) 以下の設定で、レプリケーションの有効化を実施

[概要]

リージョン：Japan East

仮想マシンデプロイモデル：ResourceManagement

可用性ゾーン：1

[仮想マシンの選択の概要]

レプリケートする仮想マシン：4

[VM設定]

リージョン：Japan East

拡張機能の設定：ASRに管理を許可します

※Automationアカウントを指定

■エラーが発生した手順

[+レプリケート]から"Azure 仮想マシン"を選択

Recovery Services コンテナ

レプリケートされたアイテム ☆ ...

検索

最新の情報に更新

レプリケート

列

フィルター

フィードバック

概要

アクティビティ ログ

アクセス制御 (IAM)

タグ

問題の診断と解決

リソース ビジューアイザー

設定

はじめに

バックアップ

Site Recovery

保護されたアイテム

バックアップ アイテム

レプリケートされたアイテム

管理

バックアップ ポリシー

バックアップ インフラストラクチャ

Ctrl+Shift+F を押して、お気に入りの追加または削除します

最新の情報に更新した最終時刻: 2026/7/28 13:53:14

サービスからのデータの読み込みが完了しました。

アイテムのフィルター...

名前	レプリケーション	ヘルス	状態	アクティブな場所	フェールオーバーの正常性
レプリケートされたアイテムが見つかりません。					

レプリケーションの有効化 ...



- ① ソース ② 仮想マシン ③ レプリケーションの設定 ④ 管理 ⑤ レビュー

リージョン * ⓘ

Japan East ▼

✖ Recovery Services コンテナのリソース グループのリージョンがソース リージョンと同じです。ゾーン間でマシンを保護する場合は、続行できます。リージョン間の DR の場合は、コンテナの選択が、そのリソース グループもそれ自体も別のリージョンのものになるようにしてください。

サブスクリプション * ⓘ

▼

リソース グループ * ⓘ

resource ▼

仮想マシン デプロイ モデル * ⓘ

☐ クラシック ☒ リソース マネージャー

可用性ゾーン間のディザスター リカバリーを行いますか? * ⓘ

☒ はい
☐ いいえ

可用性ゾーン * ⓘ

1 ▼

前へ

次へ

 フィードバックの送信

レプリケーションの有効化 ...



✓ ソース **2 仮想マシン** ③ レプリケーションの設定 ④ 管理 ⑤ レビュー

 VM を表示/選択できない場合、[ここ](#) をクリックして原因を特定してください。

▽ アイテムのフィルター...

	名前	仮想ネットワーク	タグ
☒		-vnet	
☒		-vnet	
☒		-vnet	
☒		-vnet	

検索結果: 1 - 4 / 4 件。

選択したマシン: 4

前へ

次へ

 フィードバックの送信

レプリケーションの有効化 ...

✓ ソース ✓ 仮想マシン **3 レプリケーションの設定** ④ 管理 ⑤ レビュー

場所およびリソース グループ

ターゲットの場所 ① Japan East ▼

ターゲット サブスクリプション * [redacted] ▼

ターゲット リソース グループ * [redacted]-resource-asr ▼
[新規作成](#)

ネットワーク

フェールオーバー仮想ネットワーク * [redacted]-vnet ▼
[新規作成](#)

フェールオーバー サブネット * [redacted]-subnet (10.0.0.0/24) ▼

ストレージ

ストレージは、仮想マシンごとに個別に構成されます。 [ストレージ構成の表示/編集](#)

可用性オプション

可用性オプションは、仮想マシンごとに個別に構成されます。 [可用性オプションの表示/編集](#)

容量予約

宛先の場所で容量を予約する - Japan East
[宛先の場所で容量を予約する理由](#)

容量予約 4 台のマシンのうち 0 台に割り当て済み
[容量予約グループの割り当ての表示または編集](#)

前へ

次へ

 フィードバックの送信

レプリケーションの有効化 ...



✓ ソース ✓ 仮想マシン ✓ レプリケーションの設定 **4 管理** ⑤ レビュー

レプリケーション ポリシー

レプリケーション ポリシー * ①

2-hour-retention-policy ▼

[新規作成](#)

必要に応じて、同じワークロードを実行する仮想マシンで構成されたレプリケーション グループを作成して、マルチ VM の整合性復旧ポイントを生成します。

i マルチ VM 整合性を有効にすると、ワークロードのパフォーマンスに影響する可能性があるため、マシンが同じワークロードを実行しており、複数のマシン間で整合性が必要な場合にのみ使用してください

レプリケーション グループ ①

[レプリケーション グループの作成](#)

拡張機能の設定

設定の更新

☒ ASR に管理を許可します

☐ 手動で管理する

①

Automation アカウント

[] ▼

作成

①

前へ

次へ

[フィードバックの送信](#)

レプリケーションの有効化 ...



✓ ソース ✓ 仮想マシン ✓ レプリケーションの設定 ✓ 管理 **5 レビュー**

概要

リージョン	Japan East
仮想マシン デプロイ モデル	ResourceManagement
サブスクリプション	
リソース グループ	resource
可用性ゾーン	1

仮想マシンの選択の概要

レプリケートする仮想マシン	4
---------------	---

VM 設定

リージョン	Japan East
ターゲット サブスクリプション	
ターゲット リソース グループ	resource-asr
フェールオーバー後の仮想ネットワーク	vnet
レプリケーション ポリシー	2-hour-retention-policy
拡張機能の設定	

前へ

レプリケーションの有効化

 フィードバックの送信